

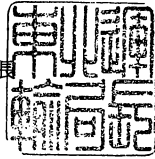


第2号様式

東邦車輛株式会社
取締役社長 辻 和弘 殿

東 自 技 第 625 号
令 和 2 年 3 月 2 日

東北運輸局長



概要等説明書（試作車・組立車審査結果通知書）

- 〔指示事項〕
1. 製造番号「TE28J7E2S-G501」の1台限りとする。
 2. 幅について、保安基準の緩和認定を受けること。
 3. けん引車は、三菱・2RG-FP74HER型トラクタ（第5輪荷重11.5t）により検討した。
 4. 検査の際は本通知書（本紙又は写し）及び添付資料を提示すること。

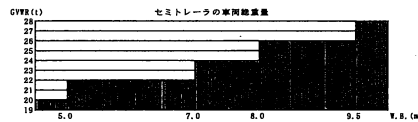
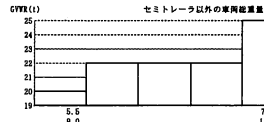
東北審第2568号

主要諸元比較表

（試作車）組立車

項 目	標準車	試作車・組立車	基準・限度	項 目	標準車	試作車・組立車	基準・限度
車 名		東邦		乗 車 定 員 人		-	
型 式		TE28J7E2S		最大積載量 kg		20500	
自動車の種類		普通		車両総重量	前前軸重	10745	≤10t (- kg)
用途		貨物	前後軸重		-	≤10t (- kg)	
車体の形状		セミトレーラ	後前軸重		8620	≤10t (- kg)	
燃料の種類		-	後後軸重		8625	≤10t (- kg)	
原動機型式		-		計	27990	≤28t (- kg)	
総排気量(L)又は定格出力(kW)		-		最大安定傾斜角度	右	※ 53	傾 ≥ 35° その他 ≥ 30°
長さ m		12.530(11.990)	≤ 12m	左	※ 53		
幅 m		2.990	≤ 2.5m	タイヤサイズ	前前軸	-	(- kg)
高さ m		1.460	≤ 3.8m		前後軸	-	(- kg)
軸 距 m		9.150 + 1.100 = 10.250			後前軸	235/75R17.5	(10300 kg)
					後後軸	143/141J	
室内又は荷台の内側の寸法	長さ m	12.310		後後軸	235/75R17.5	(10300 kg)	
	幅 m	2.990		計	143/141J		
車両重量 kg	高さ m	-		前輪荷重割合 %	空車	-	≥ 18.20%
	前前軸重	2410		リヤ・オーバーハング m	1.740	≧ 1/2) 11/20, 2/3L (5.125m)	
	前後軸重	-		荷台オフセット m	3.945		
	後前軸重	2540		最小回転半径 m	※ 11.5	≤ 12m	
後後軸重	2540						
計	7490						

車両総重量・軸重等の基準



隣接軸距	1.8m未満	1.8m以上	1.3m以上1.8m未満（1の車軸にかかる荷重が9.5t以下である場合）
隣接軸重	17245kg ≤ 18t	kg ≤ 20t	kg ≤ 19t

能力強度等検討書

制 動 能 力	踏力	-N	60km/h	0.47 (制動効率)	車 軸 強 度	σ _B /σ	690/(147.7×2.5)=1.86 ≥ 1.6
	空気圧	650 kPa				σ _V /σ	490/(147.7×2.5)=1.32 ≥ 1.3
推 進 軸 強 度	回転数	Nc/Np	-		操 縦 装 置 強 度	σ _B /σ	-
	強度	σ _N /τ	-			σ _V /σ	-
車 枠 強 度	σ _B /σ	400/(49.563×2.5)= 3.22	≥ 1.6		緩 衝 装 置 強 度	σ _B /σ	-
	σ _V /σ	235/(49.563×2.5)= 1.89	≥ 1.3			σ _V /σ	-
					制 動 装 置 強 度	σ _B /σ	-
						σ _V /σ	-
					連 結 装 置 強 度	σ _B /σ	-
						σ _V /σ	-

- 注1：（試作車・組立車）の欄には、該当するものを○で囲むこと。
 注2：能力検討欄は、該当しないものは、省略したものを×を記入すること。
 注3：能力強度等検討書欄は、必要に応じて項目を追加・削除することができる。
 注4：主要諸元比較表の長さ欄中（ ）内数値は連結装置中心から車両後端までの距離を示す。
 注5：※印はけん引車 三菱・2RG-FP74HER型トラクタ（第5輪荷重11.5t）との連結時の値を示す。

M712-075-57052
GR020775
（南）東開連

装 置 の 概 要

目 的	当該車両は、建設機械の安全輸送をはかるため、段付きセミトレーラとして新たに製作されるものである。
車枠及び車体	全体の構造は梯子型で、主レールとアウトリガー及びクロスメンバーとは電気溶接で組まれており、前部下面にキングピンを、後部に車軸装置を取付けている。
原 動 機	
動力伝達装置	
走行装置	車軸は高張力鋼で、中空丸型断面チューブの両端にスピンドルを溶接した構造を有する。
操縦装置	
制動装置	東邦 TL26G4E2型セミトレーラ（29国自審第1771号 新00012号 類別0705）と同一。（主ブレーキ）空気圧内部拡張式（駐車ブレーキ）スプリング式 ABS装置一式（KNORR製）
緩衝装置	東邦 TL26G4E2型セミトレーラ（29国自審第1771号 新00012号 類別0705）と同一。イコライザー付きタンデムスプリングサスペンションの半だ円板ばね型である。
連結装置	東邦 TF50H4C3型セミトレーラ（29国自審第422号 新16884号 類別0630）と同一。JIS呼び50カップリングピンを使用している。第5輪方式 JIS D 6602に準じて製作してある。
燃料装置	
電気装置	

- 注1：該当する事項がない場合については、斜線を記入すること。
 注2：届出者は、自動車の点検及び整備に関する情報の提供並びにリコール届出に関する責務があります。なお、リコール届出に関しては、その実施について道路運送車両法（昭和26年6月1日法律185号）に基づく勧告、命令を受ける場合があります。（第57条の2、第63条の2、第63条の3関係）

Y40343